

2026年8月7日

2026年12月期 中間期 決算説明資料

東京証券取引所プライム市場：4641

人が未来-Next Technology Frontier®

 **Alps** 株式会社 アルプス技研

目次

- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

目次

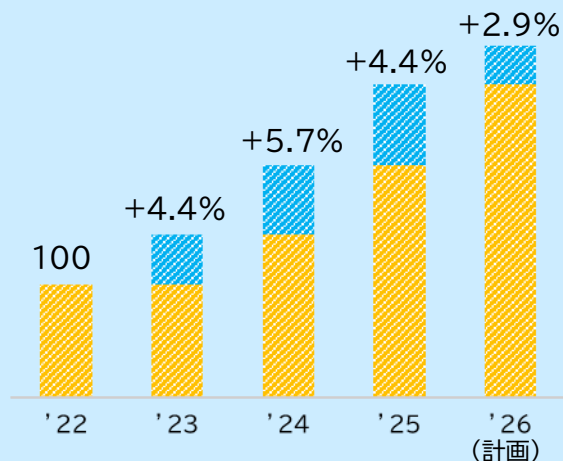
- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

外部環境

■ 企業の投資意欲は依然高く、緩やかな回復基調で推移

製造業の研究開発費の推移 (大企業)

※2022年を100とした時の前年度比



出所: 日本銀行全国企業短期経済観測調査より作成

国内企業物価指数の推移

※2022年平均=100とした時の前月比

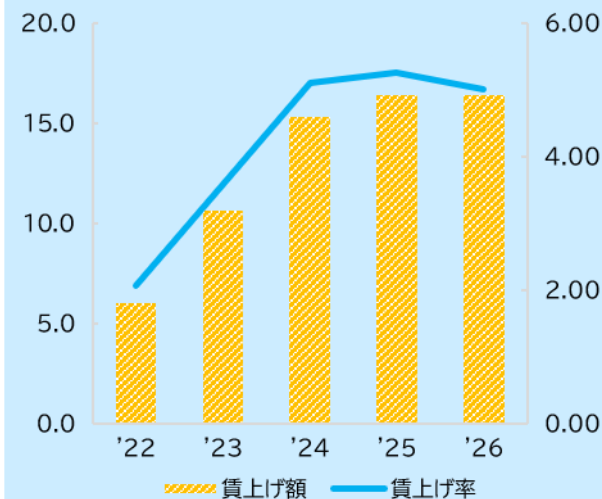


出所: 日本銀行企業物価指数より作成

賃上げの推移

(単位: 千円)

(単位: %)



出所: 日本労働組合総合連合会

依然として先行きは不透明

・中東地域における原油供給の停滞 ・資材等の高騰 ・国内金利の上昇

2026年中間期 概要 -1-

- 連結：堅調なアウトソーシングサービス事業により増収
前中間期に国内外の大型案件を完工していた影響により減益
(単位:百万円)

【連結】	2025年12月期 中間期	2026年12月期 中間期	増減率
売上高	25,340	27,023	6.6%
営業利益	2,690	2,447	△9.0%
経常利益	2,820	2,536	△10.1%
親会社株主に帰属 する中間期純利益	1,868	1,677	△10.2%

【個別】	2025年12月期 中間期	2026年12月期 中間期	増減率
売上高	19,583	21,340	9.0%
営業利益	2,171	2,288	5.4%
経常利益	2,356	2,712	15.1%
中間期純利益	1,627	1,948	19.8%

2026年中間期 概要 -2-

■ アウトソーシングサービス事業が牽引し売上高増

(単位:百万円)

【連結】	2025年12月期 中間期	2026年12月期 中間期	増減率
売上高	25,340	27,023	+ 6.6%
売上原価	19,348	21,026	+ 8.7%
売上総利益	5,991	5,996	+ 0.1%
売上総利益率	23.6%	22.1%	△ 1.5pt
販管費	3,301	3,549	+ 7.5%
売上高販管費率	13.0%	13.1%	+0.1pt
営業利益	2,690	2,447	△ 9.0%
売上営業利益率	10.6%	9.0%	△ 1.6pt
営業外収益	140	139	△ 0.4%
営業外費用	10	50	+ 389.2%
経常利益	2,820	2,536	△ 10.1%
特別利益	1	0	-
特別損失	0	0	-
税引前中間期純利益	2,821	2,536	△ 10.1%
親会社株主に帰属する 中間期純利益	1,868	1,677	△ 10.2%
売上高中間期純利益率	7.4%	6.2%	△ 1.2pt

売上高

- ・技術社員数 増
- ・契約単価 増
- ⇒前年同期比+6.6%

売上総利益率

- ・賃上げ、処遇改善
- ・海外大型案件の期ずれ
- ⇒22.1%
- (前年同期比▲1.5pt)

売上営業利益率

- ・売上総利益率 減
- ・販管費率 横ばい
- ⇒9.0%
- (前年同期比▲1.6pt)

【個別】2026年中間期 概要 -3-

- 稼働工数の増減は、お客様先の働き方によるが、
稼働人数や契約単価を上昇させることで、売上は増収

稼働人数



+144人

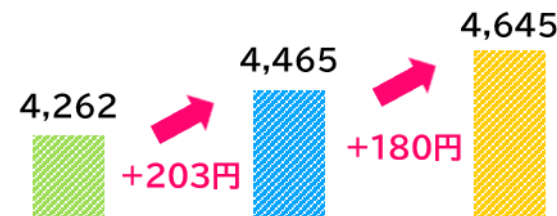


×

契約単価



+180円



×

稼働工数



+1.3h

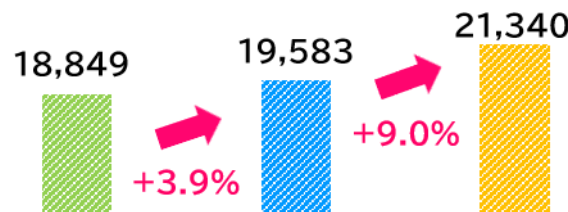


●

売上



+9.0%



(単位:百万円)

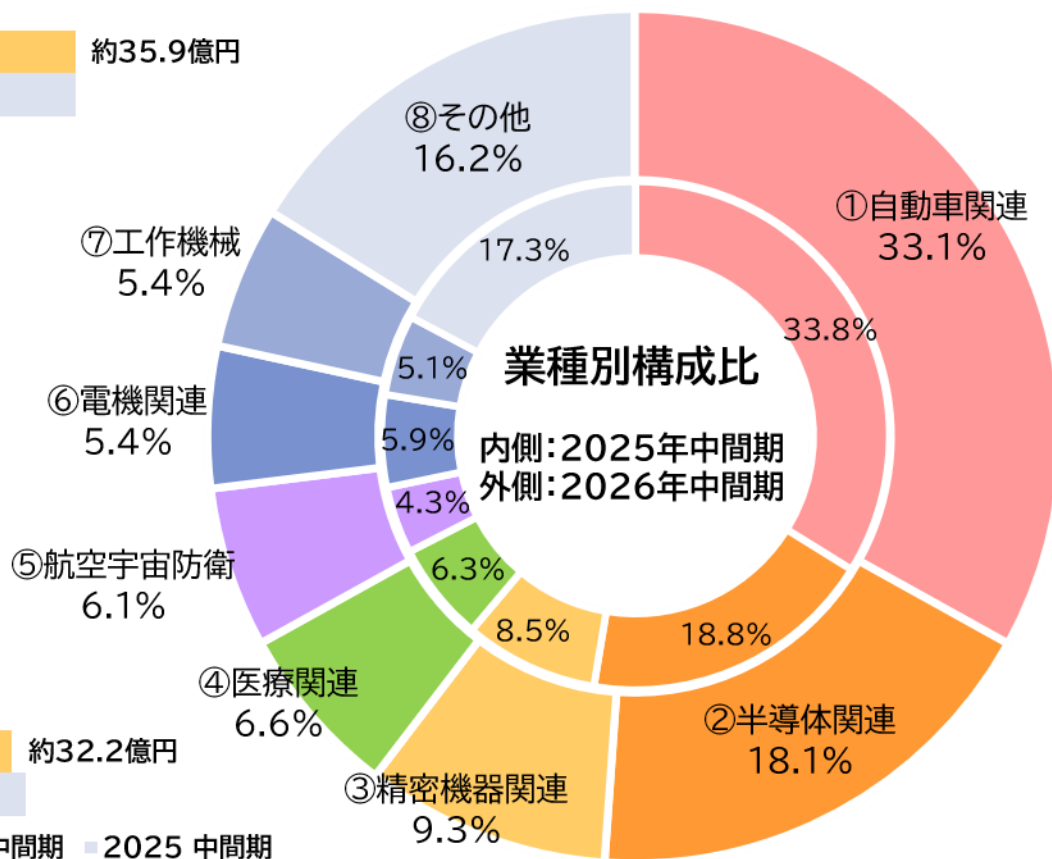
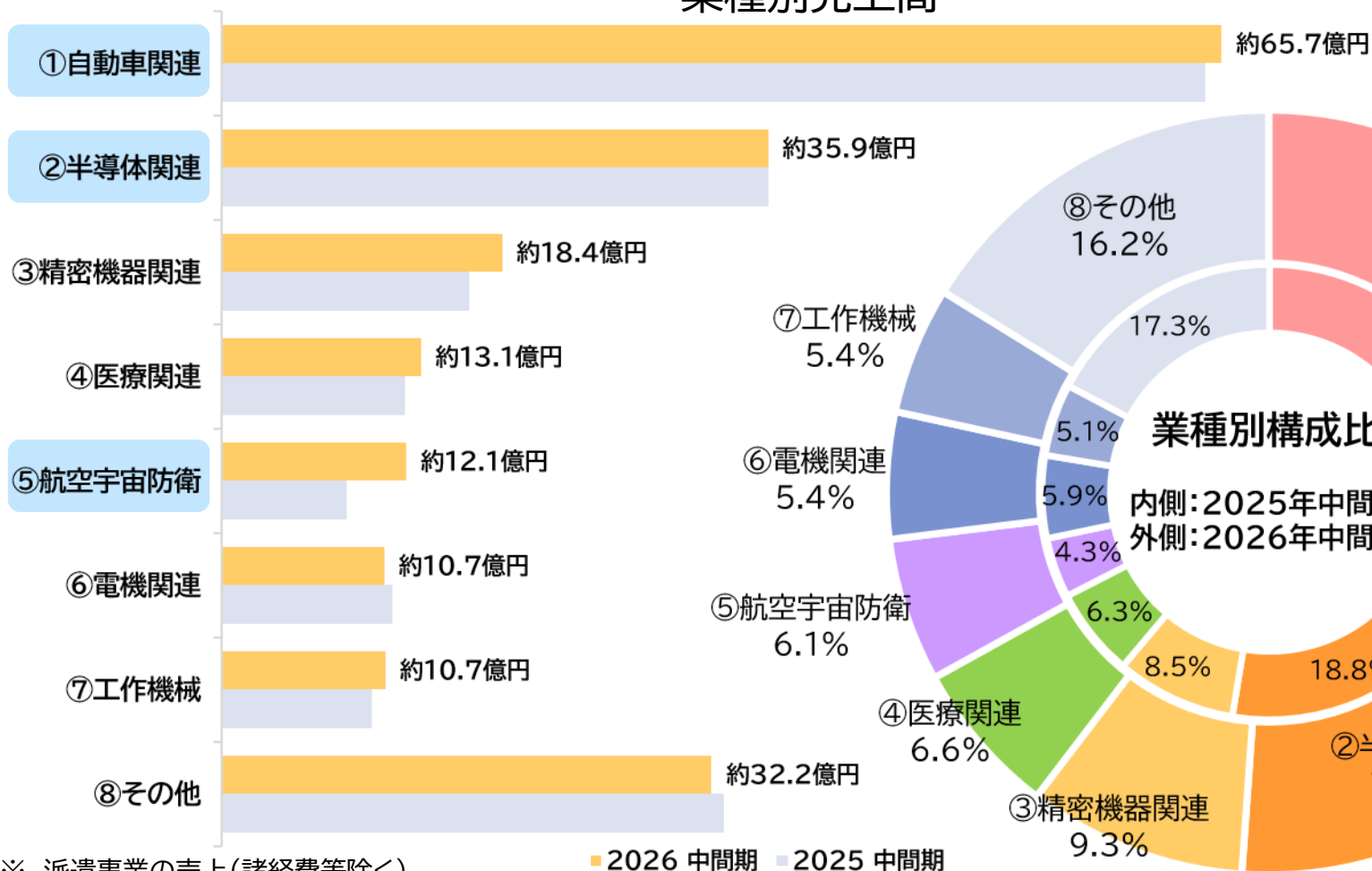
※稼働人数、契約単価、稼働工数は上期平均

24年 25年 26年

【個別】2026年中間期 概要 -4-

■ 自動車・半導体関連は、引続き高いシェアを維持

業種別売上高



※ 派遣事業の売上(諸経費等除く)
 ※ 上記グラフは最終製品に紐づく分類

【個別】2026年中間期 概要 -5-

■ 売上高上位10社の推移

2024年度 通期	2025年度 通期	2026年度 中間期 累計
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	東京エレクトロン宮城	三菱重工業
東京エレクトロン宮城	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	東京エレクトロン宮城
ソニーセミコンダクタソリューションズ	三菱重工業	日野自動車
日立ハイテク	富士ソフト	日立ハイテク
富士ソフト	日立ハイテク	ニコン
三菱重工業	ソニーセミコンダクタソリューションズ	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
デンソーテン	デンソーテン	Astemo
ニコン	日野自動車	富士ソフト
キオクシア	ニコン	デンソーテン
上位10社比率 20.4%	上位10社比率 20.4%	上位10社比率 20.6%

上位10社の売上比率を20%をめどに構成されております

2026年中間期 概要 -6-

■ 連結・事業セグメント別

アウトソーシング サービス事業

- 開発設計サービス
 - ・アルプス技研
 - ・アルプスビジネスサービス
- ものづくり
 - ・デジタル・スパイス
 - ・DONKEY
- 農業
 - ・アルプスアグリキャリア
- 介護
 - ・アルプスケアハート

8.7%

グローバル事業

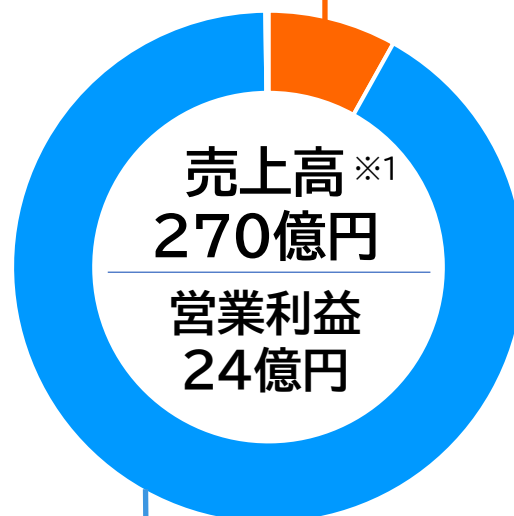
- 各種プラント設備、工場設備機器の設計・製作・据付・メンテナンス、人材サービス
 - ・台湾アルプス技研
 - ・アルテック上海

その他 ※2

- 未来型賃貸住宅事業（サービス付き高齢者向け住宅事業）
 - ・ふれあいの杜 さがみ湖
 - ・たんぽぽ四季の森

連結決算に含まないグループ会社

- 人材育成事業
 - ・ミャンマーアルプス技研
- 地方創生事業
 - ・アルプスリージョナルパートナーズ



91.1%

※1 2026年中間期実績、ミャンマーアルプス技研とアルプスリージョナルパートナーズは連結決算に含まれておりません。

※2 報告セグメントに含まれていない事業セグメント(売上高構成比の0.2%)

2026年中間期 概要 -7-

■ アウトソーシングサービス事業・グローバル事業共に売上高増

アウトソーシングサービス事業	2025年12月期 中間期	2026年12月期 中間期	増減率
売上高	22,994	24,606	+ 7.0%
営業利益	2,308	2,328	+ 0.9%

グローバル事業	2025年12月期 中間期	2026年12月期 中間期	増減率
売上高	2,300	2,367	+ 3.0%
営業利益	413	143	△ 65.2%

アウトソーシングサービス事業

- ・前期 受託案件の完了
- ・今期 売上:技術社員数、契約単価 増
利益:処遇改善による売上原価 増
⇒営業利益 +20百万円

グローバル事業

- ・前期 大型案件の完工
- ・今期 売上:半導体産業の積極投資
利益:大型案件の期ずれ
⇒営業利益 ▲270百万円

目次

- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

中期経営計画 ～第12次5ヵ年計画～

技術を活用し共創社会のパートナーへ挑戦

①技術系アウトソーシング事業 の新領域への挑戦

最先端の技術を身に着けた技術者を育成し、既存の枠に捉われない新たな事業・業務の領域へ挑戦する。

②新たな収益の柱を創る

農業・介護事業は、テクノロジーとの融合を強化し、事業の拡大と収益力の向上を目指す。

③持続可能で豊かな社会の 創生へ貢献

当社グループの持つ技術力、人間力を生かして社会的課題である地方創生に繋がる、新規事業の創出を目指す。

④デジタル化で多様な人材が 活躍する組織・風土の醸成

社内に点在している経営資源を一元管理し効率化を進めることで、多様な人材がより活躍できる体制を目指す。

中期経営計画 ～第12次5カ年計画～

① 技術系アウトソーシング事業の新領域への挑戦

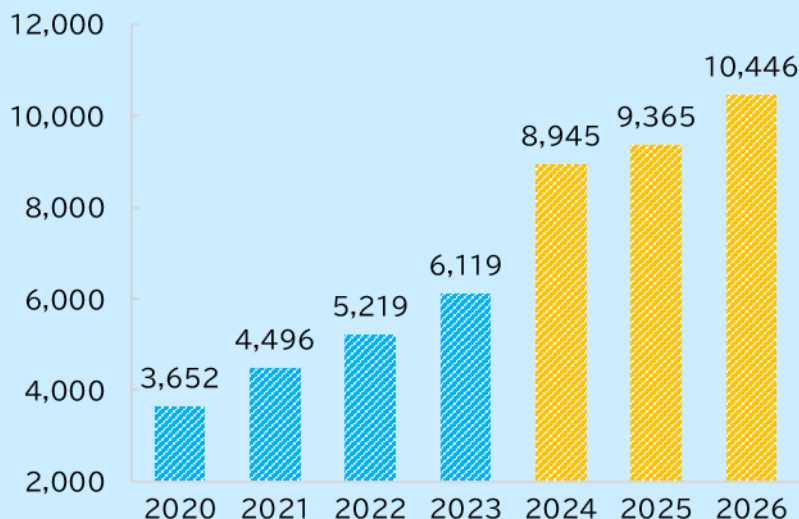
■ 宇宙事業推進室を設置し、グループのリソースを活用

外部環境

- ・国家予算は増加傾向
- ・実務経験者が少なく、技術者が不足

政府の宇宙関係予算

(単位:億円)



出所:内閣府当初予算及び補正予算における宇宙関係予算より作成

社内研修・グループ連携等に対応

- ・グループ会社の知見を利用し、社内研修を行う
- ・リスキリングによるローテーションで高単価を実現



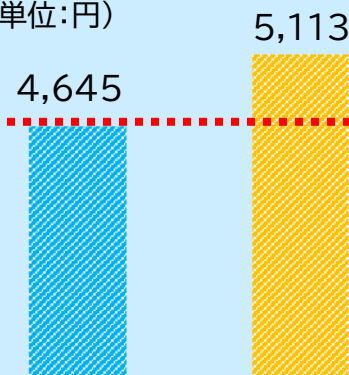
デジタル・スペースの実績

小型月着陸実証機(SLIM)に搭載された小型プローブの基板や分光カメラの制作への貢献が評価された

平均契約単価

2026年6月末現在

(単位:円)



平均契約単価

航空宇宙関連

中期経営計画 ～第12次5ヵ年計画～

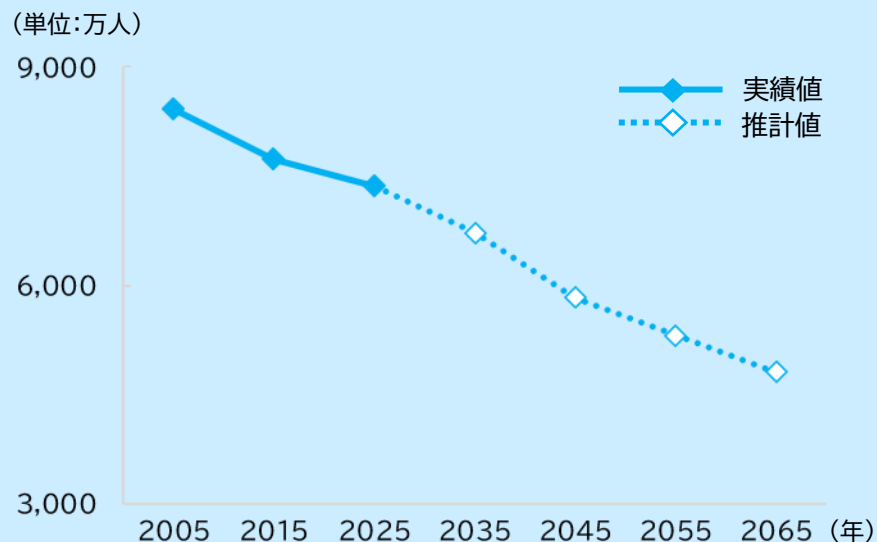
① 技術系アウトソーシング事業の新領域への挑戦

■ 受託業務推進室を設置し、派遣事業で培った技術力を集約

外部環境

- ・生産年齢人口は減少傾向
- ・人数に頼らない事業の推進が課題

生産年齢人口の推移と将来推計



出所:国立社会保障・人口問題研究所

一人あたり売上高を上昇させる施策

従来

技術者5名

単価アップにより
売上高上昇

ものづくり事業の実績と
既存の受託部門の知見を活用

今後

技術者5名

協力会社
生成AI

5名分以上の
売上へ

中期経営計画 ～第12次5ヵ年計画～

② 新たな収益の柱を創る

③ 持続可能で豊かな社会の創生へ貢献

■これまでの取り組み
介護事業

2023年 訪問介護事業へ進出



2024年 未来型賃貸住宅事業を開始

「ふれあいの杜 さがみ湖」を運営。
コンセプトは「人や自然とのつながり」。



2025年 地方創生へ貢献

「ふれあい さがみ湖 屋台村」がオープン。
飲食店起業家育成と、地域の賑わい創出に貢献。



▲ふれあいの杜 さがみ湖



▲ふれあい さがみ湖 屋台村

中期経営計画 ～第12次5ヵ年計画～

② 新たな収益の柱を創る

③ 持続可能で豊かな社会の創生へ貢献

■これまでの取組み

SCM(サプライチェーンマネジメント)事業

2018年 農業事業へ進出

派遣事業の知見を基に農業分野へ派遣開始。

2024年 農業生産事業(トマト)を開始

温泉熱やバイオマスバーナーを使用した農業用ハウスでミニトマトを栽培し販売。

2025年

旅館事業へ進出(金誠館)

南魚沼で消費者との接点を有することで、農産物や地場産品の商流に参加。

農業加工事業(さつまいも)を開始

十勝で干し芋等に加工し、販売。



▲農業用ハウス



▲金誠館の食事



▲金誠館の温泉



▲干し芋

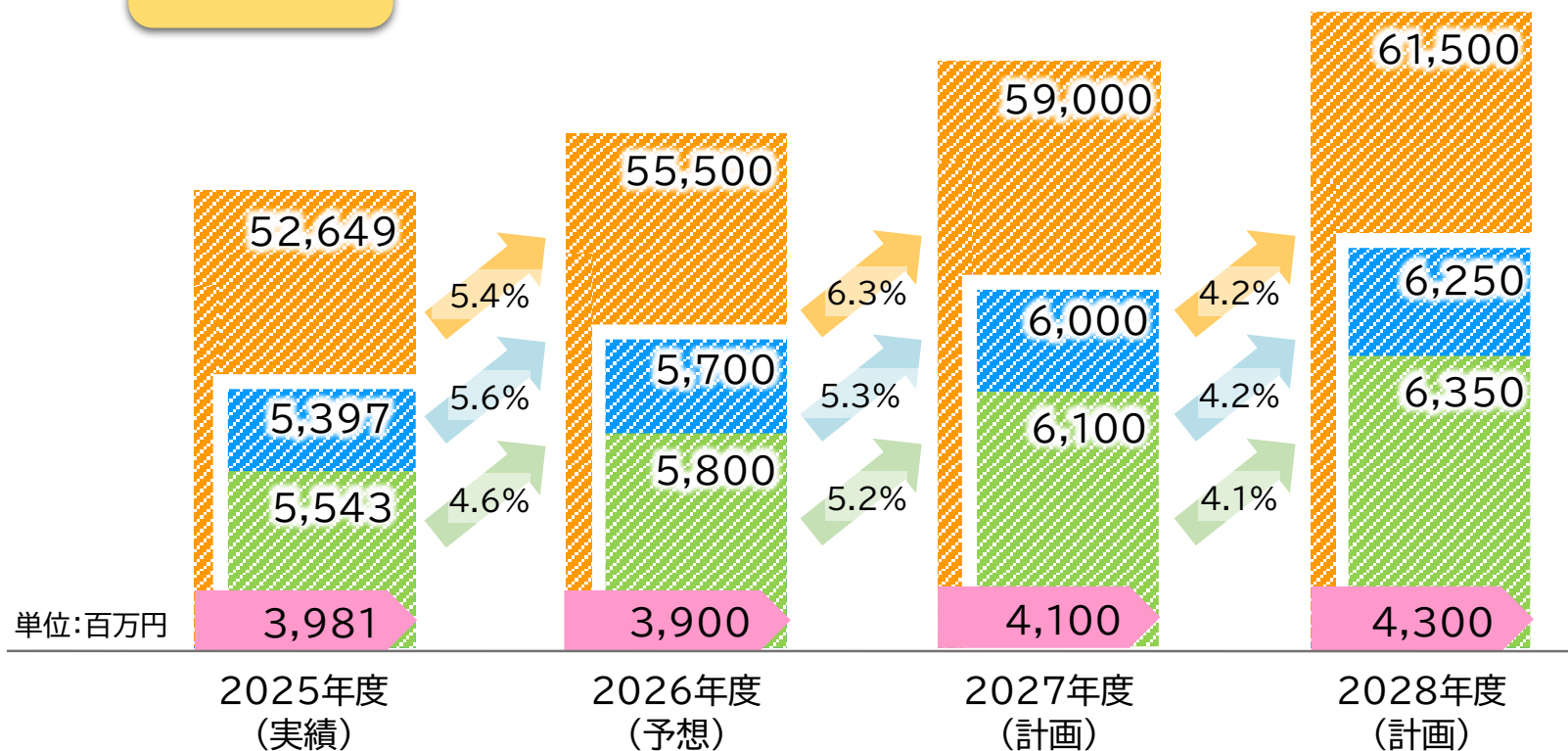


中期経営計画 定量目標:ローリングプラン

■ 創業60周年を迎える2028年度は売上高600億円突破へ

2025年度
ROE
20.4%

目標：ROE20%以上



売上高
営業利益
経常利益
親会社株主に帰属する当期純利益

目次

- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

業績予想

■ 連結：最高業績更新へ

(単位:百万円)

【連結】	2025年12月期 通期	2026年12月期通期	
	実績	予想	前期比
売上高	52,649	55,500	5.4%
営業利益	5,397	5,700	5.6%
経常利益	5,543	5,800	4.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,981	3,900	△ 2.0%

【個別】	2025年12月期 通期	2026年12月期通期	
	実績	予想	前期比
売上高	40,693	42,000	3.2%
営業利益	4,681	4,800	2.5%
経常利益	4,752	4,900	3.1%
当期純利益	3,504	3,400	△ 3.0%

目次

- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

資本コストや株価を意識した経営 -1-

- 株主資本コストは概ね7%と認識
積極的な株主還元を通じて更なる企業価値向上を目指します



◆目標ROE20%以上＞株主資本コスト7%



※1 2025年12月末日

※2 JPX『規模別・業種別PER・PBR(連結・単体)一覧』より2025年12月のプライム市場サービス業を抜粋

※3 PER、PBRの平均値から試算

資本コストや株価を意識した経営 -2-

配当の基本方針

- ・連結ベースでの配当性向50%**以上**を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)

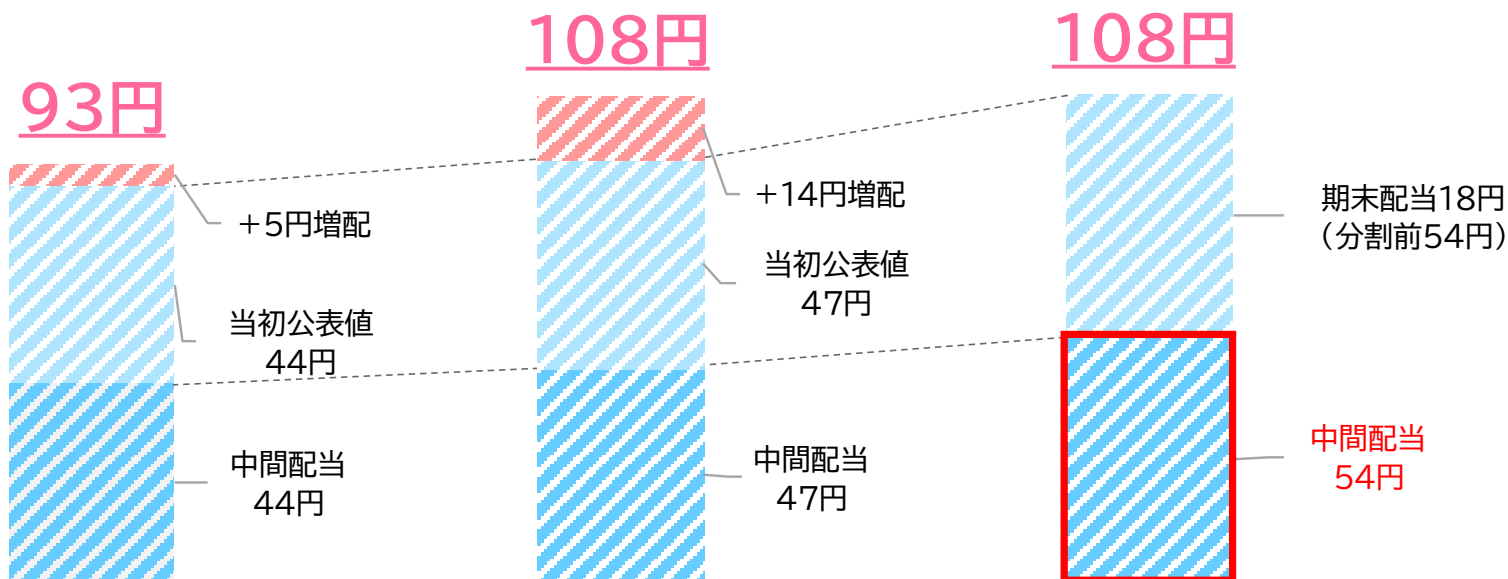
2024年度実績

2025年度実績

2026年度予想

配当
性向

50.0% → 53.3% → 54.4%



資本コストや株価を意識した経営 -3-

■ 株価の推移と株主還元、資本政策

(単位:円)



※株価は分割後換算

M&A実績

2016年9月
パナR&D

2020年7月
デジタル・スパイス

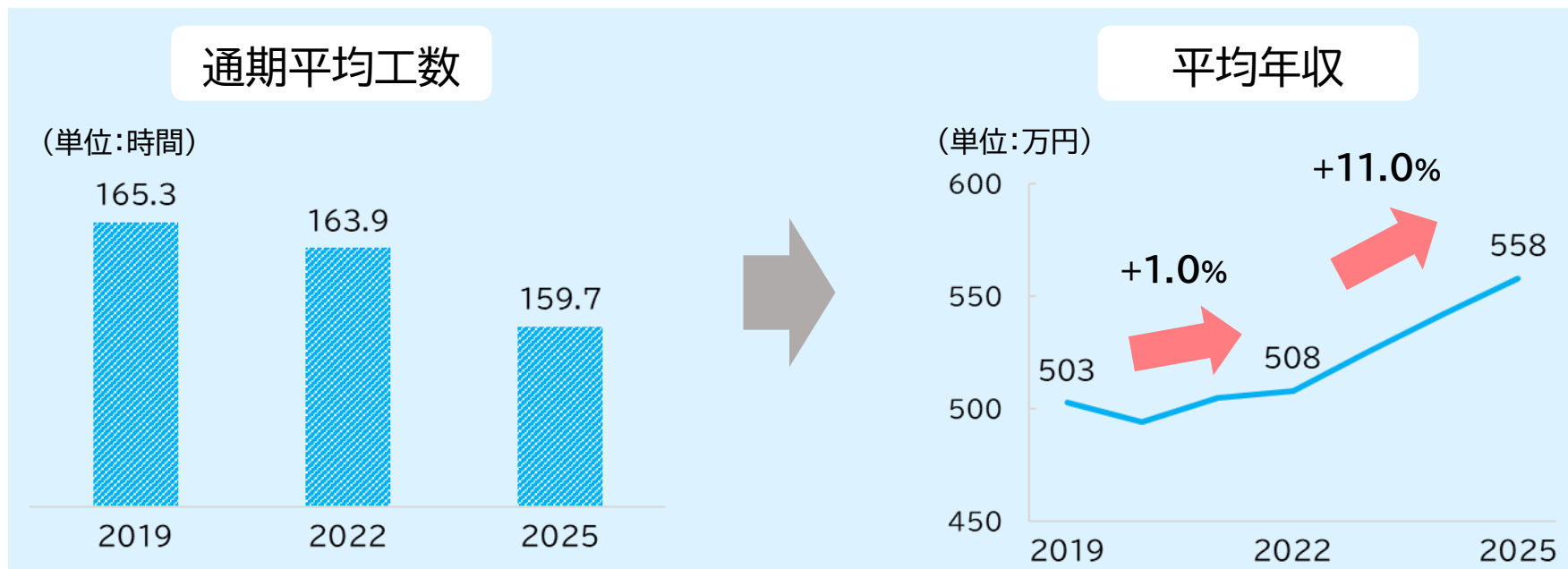
2024年1月
たんぽぽ四季の森

目次

- 1 2026年中間期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

サステナビリティに関する取組み - 人的資本 -

■ 2023年に、残業に依存しない給与体系に変更。



採用力向上

定着率向上

さらなる企業価値の向上

人が未来-Next Technology Frontier®

Alps
株式会社アルプス技研

第4回

賞金総額
150万円

大賞
100万円

CMパロディ動画 コンテスト

TVCM

奮ってご応募
ください!!

参加賞あり!!
アルくんグッズ
プレゼント!!*

応募期間: 2026年4月1日(水)~9月30日(水)
結果発表: 2026年11月下旬~12月上旬頃(予定)

アルプス技研のCMテーマ「人と人との心のつながり」のパロディ動画を大募集!!
大賞の賞金は何と**100万円!!** 詳細は <https://www.promotion-alpsgiken.com> まで。



株式会社アルプス技研

Copyright © 2026 Altech Corporation All Rights Reserved

※審査結果に応じて参加賞の内容は異なります。



ひと、技術、顧客—いつの時代にも

いくつもの
「一流」に
会える。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

↓IR資料室は
こちらから



株式会社アルプス技研